

平成21年度 都市エリア産学官連携促進事業（一般型）採択地域一覧

（別添3）

地方自治体名	都市エリア名	特定領域	事業期間	中核機関	再委託機関	再委託機関以外の参画機関	事業の概要
山形県・鶴岡市	鶴岡庄内エリア	ライフサイエンス	3年	(財)庄内地域産業振興センター	慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形大学、山形県農業総合研究センター、山形県工業技術センター	産：日東ベスト株式会社、株式会社機能性バブチド研究所、ヒューマン・メタボロームテクノロジーズ株式会社、G&Gサイエンス株式会社、株式会社ブルボン、丸善食品工業株式会社、株式会社佐徳、株式会社マルトモ、有限会社木村屋、有限会社竜泉・滝川、鶴岡市農業協同組合、山形県農村工業農業協同組合連合会 学：慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形大学農学部 官：山形県農業総合研究センター、山形県工業技術センター、山形県最上総合支庁産地研究室、山形県庄内総合支庁産地研究室	『機能評価システムの構築と地域農産物を活用した高機能食産業クラスターの形成』 メタボローム解析をはじめとした当エリアが高いポテンシャルを有するバイオ技術を活かし、食品・医薬品産業への利用展開が可能な、有用かつ簡便な食品の機能評価システムを構築するとともに、当システムを利用した高機能農産物の安定栽培技術の開発、機能性を活かした食品加工技術開発と高機能・多機能商品群の開発を行う。
石川県	石川県央・北部エリア	ライフサイエンス、製造技術	3年	(財)石川県産業創出支援機構	石川県立大学、金沢大学、石川県工業試験場	産：(株)福光屋、(株)スギヨ、大野醤油醸造協業組合、(株)四十萬谷本舗、小松電子(株)、佃食品(株)、(株)車多酒造、(株)バ「イセラ」-開発研究センター、(株)CRD、(有)バ「イテ」バ「イテ」テクノロジー 学：石川県立大学、金沢大学 官：石川県工業試験場	『地域伝統発酵食品に学ぶ先進的発酵システム構築と新規高機能食品開発』 石川県央・北部地域は農産・海産資源を活かした伝統的発酵食品が多種製造されており、近年これらの食品の生理活性機能が明らかにされている。しかし、この機能性成分を生成する微生物の菌種や発酵過程での消長は完全に把握されていない。そこで、石川県立大学、金沢大学等の持つ微生物叢解析、食品機能開発、食品発酵等の先端技術を活用し、生産技術のイノベーションを行い、さらに安全性テスト、人における実証試験を経て、科学的エビデンスに基づいた高付加価値な機能性食品の開発、新産業の創出を行う。
和歌山県	和歌山県紀北紀中エリア	ライフサイエンス	3年	(財)わかやま産業振興財団	近畿大学、京都大学、和歌山大学、和歌山工業高等専門学校、和歌山県立医科大学、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所、和歌山県工業技術センター、和歌山県農林水産総合技術センター	産：紀州食品(株)、紀の里農業協同組合、紀北川上農業協同組合、木本産業(株)、紀南農業協同組合、デリカフーズ(株)、田村造酢(株)、サッポロ飲料(株)、プラム食品(株)、(社)和歌山県農産物加工研究所、和歌山ノーキョー食品工業(株)、花王(株)、サントリー(株)、中野BC(株)	『和歌山の特産果実と独自技術を活用した新機能性食品・素材の開発』 和歌山県の特産果実である柿について酵素を活用した高効率で安全な剥皮システム開発や未利用の梅酢から体内吸収のよい低分子系機能性物質の大量抽出・飲料等食品への応用開発を行う。併せて産学官の連携、交流を実施することで、産学官連携の機運を醸成し、連鎖的に発生、継続するシステム構築に取り組む。

地方自治体名	都市エリア名	特定領域	事業期間	中核機関	再委託機関	再委託機関以外の参画機関	事業の概要
島根県	宍道湖・中海エリア	ナノテク・材料	3年	(財)しまね産業振興財団	島根大学、島根県産業技術センター	産：日立金属株式会社、株式会社島根電子今福製作所、有限会社トリコン、ヒカリ電子工業株式会社、ホシザキ電機株式会社、山建プラント株式会社、松江土建株式会社、島根三洋電機株式会社、三洋電機株式会社、島根中井工業株式会社、神戸天然物化学株式会社、有限会社土江本店	『環境にやさしい材料を用いた次世代照明デバイス・新エネルギー関連技術による新産業の創出』 本地域は「たたら製鉄」にはじまる良質な原料と高度な技術により、ニーズに応じた製品を世界に供給してきた地域である。また、近年は新エネルギーとして注目される太陽電池等の国内屈指の製造拠点となっている。本事業は、こうした本地域の強みである地域産業を背景に、島根大学独自の酸化物系材料の技術を中心として、共同研究事業等を実施し、基盤となる、発光・太陽電池・環境負荷低減技術に関連した材料から応用製品まで、他の追随を許さない技術を確立し、国際的競争力を持つ地域を創造する。
愛媛県	愛媛県南予エリア	ライフサイエンス	3年	(財)えひめ産業振興財団	愛媛大学、香川大学、高知大学、徳島文理大学、三重大学、はこだて未来大学、北海道大学、水産大学校、愛媛県農林水産研究所	産：愛媛県漁業協同組合連合会、愛南漁業協同組合、下波漁業協同組合、愛媛県認定漁業士協同組合、㈱ダイニチ、辻水産㈱、日本配合飼料㈱、愛媛県真珠養殖漁業協同組合 学：愛媛大学、香川大学、高知大学、徳島文理大学、三重大学、はこだて未来大学、北海道大学、水産大学校 官：愛媛県農林水産研究所、愛媛県産業技術研究所	『持続可能な“えひめ発”日本型養殖モデルの創出』 愛媛県南予エリアは、日本トップレベルの海面養殖業一大集積地である。本事業では、早急な課題である「魚類養殖の高度管理技術」「未利用バイオマス飼料化技術」「温暖化に対応する新たな真珠養殖技術」について、愛媛大学南予水産研究センターを核に、公設試、地域養殖関係業者の保有技術を融合させて研究開発を進め、高収益かつ安全・安心を保障できる新たな養殖モデルの創出を目指す。
福岡県・福岡市	ふくおか筑紫エリア	ナノテク・材料、環境、エネルギー	3年	(財)福岡県産業・科学技術振興財団	九州大学、佐賀大学、福岡女子大学、福岡県工業技術センター	産：AGCエスアイテック(株)、(株)ピラミッド、(株)パワーシステム、九州電力(株)、広津電装、(株)モルフ、(株)テンケン、ニシム電子工業(株) 学：九州大学、佐賀大学、福岡女子大学 官：福岡県工業技術センター	『ナノ構造制御材料を活用した自動車分野における高機能部品開発拠点の形成』 県工業技術センターの橋渡し機能と、九州大学が有するナノ構造制御材料技術を活用し、次世代自動車にも対応できる高機能部品の開発に取り組み、研究機関が集積する県中央部「ふくおか筑紫エリア」に自動車分野における高機能部品の開発拠点を形成する。